

## 政治経済(Politics and Economics)

担当教員名	石田 祐、仲宗根 卓	
学科、科目詳細	建築学科 2年 通年 一般科目 必修科目 2単位 講義	
学習・教育目標	(C)(H)	
科目の概要	政治と経済の基本原則を理解し、現代社会の経済社会や政治体制において生じている問題のメカニズムと問題に対処するための方策を考察する。	
テキスト(参考文献)	・山崎広明：「もういちど読む山川政治経済」山川出版社 ・その他：適宜資料を配布する	
履修上の注意	国際社会は多様な政治と経済によって成立していることを考える視点を身につけることが期待される。そのために主体的に学ぶことが求められる。前期を仲宗根が担当し、後期を石田が担当する。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	・筆記試験(60%) ・小レポート、ディスカッション・グループワークへの貢献、課題(20%) ・平常点(出席及び授業態度)20% ・60点以上を合格とする	
連絡先	s-nakasone@osipp.osaka-u.ac.jp(仲宗根)	

授業の計画・内容	
第1週 政治と国家(政治の意味、国家の要素)	
第2週 政治と法	
第3週 民主政治(1)(発展と原理)	
第4週 民主政治(2)(近代民主政治の基本原則、基本的人権の保障)	
第5週 民主政治(3)(権力分立、各国の政治制度)	
第6週 日本国憲法(1)(憲法概念、歴史)	
第7週 日本国憲法(2)(基本的人権の保障)	
第8週 中間試験	
第9週 日本国憲法(3)(統治機構)	
第10週 平和主義と日本の安全保障	
第11週 沖縄の基地問題について調べる(グループワーク)	
第12週 ディスカッション：在沖米軍基地の是非 小レポートの提出	
第13週 国際社会の成立と発展(国際連盟～国際連合)	
第14週 国際政治の動向(1)(人種、民族問題、紛争、軍縮)	
第15週 国際政治の動向(2)(日本の領土問題について考える)	
期末試験	
第16週 経済学とは？	
第17週 Macroeconomic history	
第18週 Trust	
第19週 Community	
第20週 Markets	
第21週 Science and technology as institutions	
第22週 ここまでのまとめ	
第23週 中間試験(第16週から第22週の学習内容の確認)	
第24週 Households and firms	
第25週 Social well-being and democratic government	
第26週 グループワーク：Sustainable economic developmentに関するプレゼンテーションの準備	
第27週 グループワーク：Sustainable economic developmentに関するプレゼンテーション(1)	
第28週 グループワーク：Sustainable economic developmentに関するプレゼンテーション(2)	
第29週 グループワーク：Sustainable economic developmentに関するプレゼンテーション(3)	
第30週 経済と社会	
期末試験	